



令和2年度という年

令和2年4月7日、入学式・始業式を行い、子供たちのいっばいの希望と少しの緊張感で新しい年度がスタートして4日、新型コロナのため臨時休業となりました。途中、密を避けるため地区で半々にしての登校を経て6週間後の5月25日に学校再開。授業のコマを増やしたり4日間の土曜授業を実施したりすることで授業時数を確保し、音楽や家庭科、体育の実施方法などを検討しました。暑くなるにつれ熱中症防止の観点から登下校時のマスク着用のあり方について、子供たちへ丁寧に説明。子供たちは状況に応じて付けたり外したりすることができていました。

体育発表会は学年団ごとに実施。来校される保護者の方々等の三密をいかに緩和するかが焦点でした。修学旅行はもともとの目的地であった東京から県内へと変更。6年生の節度ある行動に感激しました。いずれにせよ、これらの行事を開催したことにより感染するということになかったことは何よりでした。そして形は変えても実施できたことには安堵しました。

そして、この3月、18日の修了式、19日の卒業式をもって令和2年度は終了します。この一年、新型コロナばかりでなくインフルエンザに罹患した児童はいませんでした。手洗い・マスク・換気といったことが感染症の対策として有効かを実感しました。

そして、何より「しかできなかった」のではなく「けどできた」と、子供たちはポジティブに捉え、日常を丁寧に生き、置かれた場所で美しい花を咲かせた1年でした。



感謝

本年度は新型コロナによる影響をかんがみ、とにかく子供たちの命・安全を守ることを第一に、子供たちの心の安定を図ることを心掛けて学校経営を進めてきました。その中で授業を全うすることができたことは幸いでした。

波乱の1年でしたが大過なく終えることができそうです。これもひとえに皆様の深い御理解・御協力のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(校長 上野 明彦)